

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	防犯カメラ設置事業
事業実施前の状況	国道176号線と通称池高通りが交差する道路は、関西でも有数の複雑・難易の交差点の一つでこの場所をスムーズに交差出来る案が見つければ警視総監賞ともいわれている。以前から交通事故と犯罪軽減と啓蒙のために防犯カメラを設置してほしいとの要望が強かった。
事業実施後の状況	国道176号線の南側、井口堂会館の2階部分に、フィットネス側に向けて1台、4差路の交差点に向けて1台、176号線の池田方面に向けて1台の計3台を設置した。10月27日設置。
事業の効果	設置後、何件かの交通事故に関連する開示請求があったに聞いている。事件、事故、犯罪の軽減と啓蒙に役立てばと考えている。
今後の課題等	防犯カメラの設置によって、事故、犯罪の検挙率が飛躍的に高まり設置効果は確実にあがっているようである。市内中が防犯カメラで四六時中見張られているのはいかがなものか？という声があるのも事実である。いずれにしても、犯罪、事故、事件の軽減社会が望まれるが、複雑な社会情勢もあり中々難しい問題である。

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ協議会
会長名 西岡 政治



記

以上

設備	
事業の名称	地域内会館(備品)整備事業(会館トイレ整備)
事業実施前の状況	井上堂北会館トイレ(1.2F)男女一緒、洋式トイレ2台であったが、アコーディオンカーテンで区切るものであった。トイレにしみついたトイレ臭が気になっていた。
事業実施後の状況	高齢者の方々だけでなく利用者皆さんから、明るく衛生的、快適なトイレと評価を得ている。
事業の効果	会館利用者の増加と、地域コミュニティ推進協議会の活動を知らせてもらえる。住民参加・PRにつながる。
今後の課題等	地区内にある他の会館トイレについても検討。

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 西岡政治



記

設備

事業の名称	地域内会館(備品)整備事業
事業実施前の状況	井口堂北会館内に掲げている黒板類は、調理室を除きチョークで板書きしているため、チョークの粉が飛び散り、使用後の清掃の時にも咳き込んだりして害を生じる等の意見が多く出ていた。
事業実施後の状況	黒板を全て移動式ホワイトボードに更新した事により、粉受けや消し板の清掃が解消された。 導入したホワイトボードは、軽く移動式になったため、後方座席の人にも見易い場所まで移動することが出来る。
事業の効果	チョークを使用しないため、健康面への配慮も不要となった。 軽量で移動し易く、参加者に示す資料を貼り付けと記載することが重なるときには、他部屋の使用していないボードをスムーズに移動することが出来る。
今後の課題	他の会館の更新時期や取り除いた黒板をどの様に保存、処理するのか？ 消耗が早いボード用マジックをどの様に購入するのか？

以上

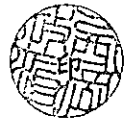
平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	井口堂北会館、石橋北会館、旭丘会館にAEDを設置している。
事業実施後の状況	各会館のAEDのバッテリー、パッドを定期的に交換している。
事業の効果	
今後の課題等	設置場所の管理人さんや、利用する方々に突発的事態に対処出来るように、定期的に講習をうけてもらうこと。

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	最も身近で便利な乗り物である自転車の普及によって、人、車、自転車同士の事故が全国で多発しており、高額な賠償費の請求事例も発生している。 池高通りを石橋駅に向かう下り坂でも2人乗り、スマホしながらのながら運転が横行しマナーの悪さが目に余る。啓発看板を要所に設置して事故の軽減と啓発に取り組みたい。
事業実施後の状況	3月下旬にリカーショップゆあさの裏の市道道路鉄柵、石橋公園西側の急カーブの道路鉄柵に啓発看板を一基ずつ、井口堂ミニカー前の電柱に巻き啓発看板を1基設置した。 いずれも2人乗り違反の啓発イラスト看板である。
事業の効果	徐々にその効果が見えてくれば幸いである。
今後の課題等	啓発看板のみならず、学校や地域でも地道に啓発活動を継続していくことが重要であるとする。特に学校の授業の一環でマナー向上や登下校下でも安全運転の励行を放送するなどして啓発、啓蒙指導が必要とする。

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	地区内の街路灯について、破損や照度不足の街路灯について順次取り換えていっている。
事業実施後の状況	今年度は、井口堂3丁目7-18のコスモマンション入り口付近の市電柱に街路灯を1基新設。 旭丘3丁目1-7の河島歯科近くの街路灯の照度アップを図った。
事業の効果	地域内を夜間に歩いて見て回ったが、最近LED外灯の普及が図られ夜間でも、街全体が非常に明るくなり安心、安全な街創りが進んでいると思われる。
今後の課題等	

平成 27 年 4 月 7 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西岡 政治



記

地域コミュニティ紙等発行事業

以上

事業の名称	(地域でよい) い(は)し 発行
事業実施前の状況	年3回発行、編集会議を行う。地域の事業や行事のスケジュールの確認。地域内で話題になってい る事業や地域全体の様子をお話し、発行時期の決定。
事業実施後の状況	発行の時期に合わせて行事、事業を取材して記事 にしていく。取材や写真を通してそれぞれの事業 の目的や、い(は)しを通して気付いてもらえら る。
事業の効果	「つうしん」で取り上げられた掲示板、20ヶ所設置しているが、 掲示板を見にくくなる人が増えるから... 各行事への 参加者が増えるように感じられる。「つうしん」を見 ているという人も2人あまり多く訪ねてきています。
今後の課題等	石橋地域がもっとよくなり、9月にも「つうしん」を 載りませう。記事の取り方、地域性のアピールの 仕方などどうしていくか、少し向き直らなければならない。

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 西岡政治



記

運営

事業の名称	地域内会館備品(整備)事業
事業実施前の状況	25年度から初めた継続事業で、従前は石橋校区内にある各種ボランティア団体の会議資料、案内状やポスターを作成者がコンビニや学校のコピー機等を使って不便、経費が掛かり過ぎた。
事業実施後の状況	会議資料は、会議前に速やかに、大量の数量も印刷することが出来る。 会議中に決定や変更事項もその場で印刷、配布が可能で再会議の案内連絡等する手間が省かれ、効率になった。
事業の効果	資料等の作成者の時間繰りが容易になり合理的になった。 団体の印刷費負担が軽減され、各活動の予算経費に生かせるようになった。
今後の課題	コピー印刷機の設置場所が2階廊下に置いてあるため、使用している部屋に印刷機の音が響き再三クレームをうけている。 廊下のため空調が効かず、夏暑く、冬寒さに苦慮している対応として会館内の空部屋を整備して格納設置場所としたい。

以上

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	地域防災体制強化 ^等 事業
事業実施前の状況	4か所の防災倉庫に、ハード・ソフトの備品を過去4年間にわたって取り揃えてきた。地域コミュニティのメンバーや、地域住民の皆さんのご意見を参考に取り揃えてきた。昨今、異常気象による短時間記録的集中豪雨によって、各地で甚大な被害がでている。当地区でも水害や突風の被害が懸念される。夜間や強風雨時の避難対策として、今年度は豪雨、夜間避難対策としての防災備品を取り揃えてみたい。
事業実施後の状況	長靴、雨かっぱ、ライト付ヘルメットLEDヘッドライト、夜間用の投光機、ゴム手袋等、雨天や夜間を想定した防災備品を取り揃えた。又、簡単テントも利用範囲が広いと思い1張り購入した。
事業の効果	RVボックスを各倉庫に2個ずつ購入したので、小備品を整理していざという時にスムーズに使用出来るように整理、整頓し現在ある備品の把握にも努めていきたい。
今後の課題等	備品に関しては、地域住民の皆さんの要望を吸い上げて取り揃えるようにしていきたい。訓練に関しては、公助を得られるまで持ちこたえられる住民の自助、共助意識の高揚と思いやりの気持ち、そして防災リーダーの統率力と普段の日常生活からのご近所同士の連携とチームワークづくりが必要と思われる。特に高齢化社会に向けての取り組みが急がれる。若者世代では、子供を通じてある程度の連携が保たれていると思われるが、子供が一本立ちするにつれて徐々にその連携が希薄になってくるので。27年度は、石橋中学校、石橋小学校5,6年生、万寿荘、石橋保育園と合同で11月に合同防災訓練を行う予定である。災害は何時起こるか分からない。地域の中・小学生の力が必ず必要になってくると思われる。

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西園政治



記

地域行事等活動促進事業①

以上

事業の名称	(石橋校区納涼大会)
事業実施前の状況	納涼大会を存続させるために必要経費への地域の支援、ご協力の限界がみえてきびしい状態にあった
事業実施後の状況	補助金の充てにより従来同様の納涼大会開催が可能となり存続実行することができた
事業の効果	出店も含め企画運営全て地域住民の手で行っている夏の大きな行事に他の地域からも多くの参加を得て例年同様盛りだくさんに実行できた
今後の課題等	物価上昇の上げ納涼大会の趣旨にご理解ご協力をいただくこと

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西園 政治



記

以上

事業の名称	地域 ^導 行事活動促進事業②
事業実施前の状況	スタッフと一般参加者の区別が不明だった
事業実施後の状況	スタッフと一般参加者の区別がはっきりしたのことで、分業がしやすくなったという意見があった
事業の効果	ユニフォームを着用する事により、各々の活動の認知と団結が向上した
今後の課題等	スタッフの配分、及び回収の手順等検討中

平成27年 4月 7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域環境美化協議会
代表者名 西岡 政治



記

事業の名称	地域美化整備事業 ①
事業実施前の状況	大分改善出来なかった。石橋駅に向かう道路のたまたまの木の伐採で、居定周辺(道路脇側溝)の雑草が目につき、街の美化に貢献が小さい。V.P.Tの糞も目立つて散見される。
事業実施後の状況	V.P.Tの糞の放置は一部の常習者、居定周辺の雑草放置も一部の居定に該当する。大半の方は糞の後始末、居定周辺の雑草の取りとにしている。 またこの木の伐採については、ある地域と計画していた半減(前日155本→今日72本)に達した。大幅改善とは言い、今をお目につく状況にある。
事業の効果	徐々にではあるが、美しい街づくりに向けて改善がなされていくと見える。 又、地域住民の心ある方々の「美しい街づくり」をしようとする意識、モラルが向上してきたと思われ、同時に、環境美化の一体感も深まってきていると感じている。
今後の課題等	平気な道路を汚す一部の非協力的な人(住民、通行人)をしっかりと意識づけ、協力してもらう。 例えば、V.P.Tを散歩地とするのではなく、後始末用具を持たない人の注意、中には歩いている人には、携帯便所を所持しているかを確認等、反発を覚悟し、注意喚起の方法も考えている。

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西園政治



記

以上

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	ペットボトルキャップの回収リサイクル及び資源の有効利用への住民意識を高める事を昨年同様に行う
事業実施後の状況	事業継続により、住民の意識の向上(回収量の増加)と民間企業へのボトル設置も実現した(回収)
事業の効果	ゴミとして捨てられていたキャップの資源の再利用として生活用品の回収も行う事で住民に理解され意識を高める事が出来ている
今後の課題等	広報活動の充実

<様式4号>

平成 27 年 4 月 7 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 西岡 政治

記

事業の名称	地域美化整備事業 ②
事業実施前の状況	地域のご家庭では花の鉢植えが大半で、多肉植物の鉢植えはほとんど見かけないのに、多肉植物の寄せ植えに7割は、知識も乏しく、関心も無いという人が多い。
事業実施後の状況	参加者全員が、10種類のミニ多肉植物を使って創作寄せ植えに挑戦し、それぞれ満足した作品を完成させることができたことで、多肉植物の寄せ植えについての知識・関心が高まった。
事業の効果	参加者を中心に、今後 多肉植物の寄せ植えが普及し、これにより期待される。 石橋地区は、歩道が狭く、外路樹が植えられないため、家庭のガーデニングを推進する必要がある。ガーデニング教室はその一助となる。
今後の課題等	「汚水の車いす走行が止まり」から「花と緑にあふれた街づくり」にステップアップさせるため、今後も「家庭でのガーデニング技術の向上普及」に取り組む。 講習会としては、もっと参加人員を増やし、参加費を徴収することにより、事業予算を軽減していく。

<様式4号>

平成27年4月7日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 西岡 政治



記

等

事業の名称	公園整備事業
事業実施前の状況	花壇は、枠田 ^{のり} 無く、土盛りしたばかりで、雨の土が流出していた。 芝生化予定地は春の訪れにかけ、雑草の放題となり、立ち入り ^{のり} が、治甲 ^{のり} していた。
事業実施後の状況	花壇は枠田 ^{のり} の設置、土の流出が無く、見栄も良くなった。 80㎡と芝生化した、何か芝生が根付いている。 春になり、芝生化した場所は雑草が固く刈り取ったが、芝生化した場所は雑草もほとんど無く、人の立ち入りが可能となっている。
事業の効果	花壇の整備や周辺部の芝生化において、憩いの場としての公園の整備も役割をしっかりと果たすことができた。 環境部会委員が中心となって実施完成させたことで、70歳以上の高齢者でもできるという自信が生まれた。 (経費削減面の効果も大きい。)
今後の課題等	今後も花壇の充実、芝生の拡大に向け、公園を憩いの場とする整備を進めたい。 石橋公園については、「砂場の拡張」「遊具回りの土砂流出防止」「トイレの洋式化」等を推進したい。

2014年 9月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニケーション推進協議会
 会長名 西岡政治



記

事業の名称	異学年交流事業
事業実施前の状況	同学年、同クラスの交友より希薄となりがちな異学年との交流により上級生は下級生を労り下級生は上級生（祖父母、両親等）を慕い敬う人間関係を育成し、地域住民間も顔馴染みとなり、仲良くなるように仕掛ける。
事業実施後の状況	登下校の通学時や歩行時に交流会参加者児童から挨拶、目礼を送り親しさを表し、地域住民同士も挨拶する光景が増えた。
事業の効果	子ども会と協働で開催し、計画段階でPTA役員や親父の会も協働の申し出があり多くの人が知り合いになった。 近々の天候が不順で計画の変更かとの心配も、皆の団結で天候に恵まれ、多くの子ども、住民が参加してくれて美味しく、楽しく、可笑しく、参加者全員が楽しい時間が過ぎた、今後も継続的に開催して欲しいとの要望する声が多くあった。 子ども会への加入促進に一翼に担えた。
今後の課題	今回、お手伝いや参加出来なかった人を呼び込み、事業内容を募集する等考慮して行事化を推し進めたい。

以上